

宮古空港の滑走路状態に係る注意事項（主に運航乗務員向け）

滑走路表面にゴムチップが多く付着しており、「すべり摩擦係数」が一部で保守基準値を下回っています。そのため、着陸時は DRY 状態の場合を含め、慎重なブレーキ操作が必要なことに留意して下さい

航空安全推進連絡会議（航空安全会議）では、沖縄支部と本部（東京）が連携して、宮古空港の滑走路表面における不安全な状況に対する速やかな周知と対応に取り組んできました。その結果、上記内容を宮古空港へ就航するパイロットへ緊急的に周知する判断に至りました。

<これまでの経緯>

- 2022年5月、沖縄支部は沖縄県空港課に対して、「宮古空港の滑走路が他空港に比べて滑りやすい」ことに対する対応を要請した結果、「2023年度に対応する」旨の答弁がありました
- 2022年7月、安全会議全国幹事会で上記の報告があったことから、本部担当者が沖縄県空港課へ連絡を入れ、詳細の状況を確認しました
- その結果、滑走路全体の1/4に及ぶ範囲で、航空局が定める「WET状態におけるすべり摩擦係数の保守基準値」を下回っていることが判明しました。また、これとは別に、グルーピングが一部の箇所で適切でない実態が判明しました
- 保守基準値はWET状態でしか計測されないことから、DRY状態のすべり摩擦係数に関するデータはなく、DRY状況下でも不安全性が懸念されます
- この状況をパイロットへ周知するため、State NOTAMの発出を関係者で模索しましたが、「前例が無い」という理由で発出されていません
- 現場のパイロットが何も状況を知らされていない状況が数ヶ月続いていることに航空安全会議は大きな懸念を抱き、同担当者が沖縄県空港課と直接面会し、独自のNOTAM案を提起しました
 - ・ 滑走路状態は常時 WET 状態とすること（RWYCCに基づく技術的提案）
 - ・ グルーピングの有無は航空会社の判断とする

- この NOTAM 案は、「安全」と「運航率」のバランスを考え、「安全」が担保出来る最低ラインを考慮して提案したものです
- 沖縄県空港課はこの案を受け入れることを表明し、上記内容に基づいて 9 月初旬、航空会社向けの説明会が実施されました
- 説明会では、性能計算根拠となる滑走路状態を NOTAM で周知することを受け入れるのは困難だという航空会社の反対意見があり、「すべり摩擦係数」に関連した NOTAM（常時 WET 状態とする）は発出されないことになりました
- 一方、轍の影響で水が溜まりやすい箇所があることとグルービングの有効性に関する相関関係が不確実な中、水が溜まりやすい箇所を「Non-Grooved」とする NOTAM を発出する確認が取られました
- 航空安全会議によるデータ解析では、すべり摩擦係数の低下とグルービングが不適切な箇所は無関係であることが分かっています
- 航空安全会議によるヒアリングの結果、「グルービングの低下だけでなく、ゴムチップの付着によるブレーキの効きの悪さが影響している」ことが明らかになっています
- これらを総合的に判断した結果、現況の宮古空港における滑走路状態は、WET 状態ではもちろんのこと、DRY 状態でも滑りやすい可能性があることをパイロットに周知する必要があると判断しました

<今後の計画>

- 9 月中旬現在、ゴムチップ除去工事は 10 月中を予定しています（当初の 2023 年度の工事予定が早まったことについては、今回の働きかけの成果です）
- 9 月中旬現在、轍の影響で水が溜まりやすい箇所を「Non-Grooved」状態として、State NOTAM を発出する予定で調整が進んでいます
- 上記とは別に、航空会社が独自に「Non-Grooved」状態とする Company NOTAM を発出しているところがあります
- Grooving に関する工事は、2023 年度に実施予定で調整が進んでいます

離着陸性能を計算する時の判断基準は、航空会社から提供されるデータに基づくことは言うまでもありません。

一方で、航空安全会議は沖縄県空港課と連携し、「安全」と「運航率」のバランスを考慮して独自の提案をしましたが、性能計算の大前提を変更することは出来ないという判断の結果、本来の目的とは異なる NOTAM が発出されることとなりました。結果として、「安全」が軽視された状況が放置されることを看過するわけにはいかず、止むを得ずお知らせすることになったことをご理解いただき、運航されるパイロットの皆様は適切に対応していただきますようお願いいたします。

今後、航空安全会議では監督官庁である航空局に対して、再発防止策を含めた対応策について、適切な対策を諮るように要請を行なっていく予定です。

以上

詳細については、皆様が所属している単組の航空安全会議担当、または航空安全会議 HP (<https://jfas-sky.jp>) 経由でお問い合わせ下さい。